

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社イナリサーチ

コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中川博司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 米田公生

TEL 0265-73-6647

四半期報告書提出予定日 平成21年11月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,579	△3.8	0	△99.4	△24	—	△25	—
21年3月期第2四半期	1,641	—	139	—	90	—	34	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△841.55	—
21年3月期第2四半期	1,269.83	1,260.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	5,104	1,763	33.1	56,381.33
21年3月期	5,294	1,854	33.6	59,332.09

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,690百万円 21年3月期 1,776百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	1,600.00	1,600.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,865	8.4	84	△76.6	38	△87.0	3	△96.9	126.23

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|---------|-------------|---------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 29,977株 | 21年3月期 | 29,950株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | —株 | 21年3月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 29,961株 | 21年3月期第2四半期 | 27,180株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部回復がみられるものの総じて企業業績の低迷から脱却できず、雇用不安がより深刻さを増した状況となっております。こうした中、当社グループの主力事業が大きく関わる医薬品業界では、大手製薬企業を中心に主力製品の特許切れが迫っていることや、日本をはじめ各国で医療費抑制の観点から薬剤費が抑制される傾向にあること等により、厳しい事業環境が続いておりますが、新薬開発過程において、自社の従業員や設備等固定費の削減と開発期間の短縮を実現するために、信頼できる受託試験研究機関：Contract Research Organization（以下「CRO」と言います。）へのアウトソーシングの重要性は広く認識されております。

当社はこのような製薬企業のニーズに対応すべく、短期的な受注動向に捉われることなく、より質の高いレポートの提供を目指し、優秀な人材を確保するとともに階層別の社員教育を実践し人材の育成に取組み、さらに新たに基幹となる試験管理コンピューターシステムを更新し情報処理力を高め迅速化を図ってまいりました。

また、サルスの検疫棟及びブストック棟建設を決定いたしました。これによりサルスの収容頭数が540頭分増加しますので、今まで以上にサル試験をスムーズに開始することが可能となります。

こうして取組んでまいりましたが、大手製薬企業による慎重な投資判断や、研究開発にあたってはより後期段階にある候補薬の試験へ優先投資されるなど開発動向の一時的変化に加え、CRO間の競争が激化したこと、さらには景気低迷の影響から新薬開発に取り組むベンチャー企業からの受注が減少した結果、受注が計画に達せず、一方償却費等固定費は増加したため収益は厳しいものとなりました。しかし製薬企業は新薬開発に向けた研究開発費を増加していることから、製薬企業のニーズに適合した社内体制を整備し、技術の更なる蓄積を図り、販路拡大のための営業活動の強化等に取り組んでまいりました結果、受注額は前年同期実績を上回ることが出来ました。製薬企業の研究開発の動向には不透明なところもありますが、より一層信頼していただける組織運営の構築に努め差別化を図ってまいります。

この様な状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,579,562千円（前年同四半期比3.8%減）、営業利益は838千円（同99.4%減）、経常損失は24,899千円（前年同四半期は経常利益90,710千円）、四半期純損失は25,213千円（前年同四半期は四半期純利益34,514千円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 医薬品非臨床試験事業

当第2四半期連結累計期間における当事業部門の売上高は1,521,887千円（同3.0%増）、営業利益は86,828千円（同54.7%減）となりました。売上高の増加は試験の終了時期が当初想定よりも早まったことによるものであります。しかしながら、一部大手製薬会社が世界不況や株式市場の不透明感から慎重な投資判断を行ったことや、開発過程での製品の絞込みを実施したこと、さらには医薬品バイオベンチャーの業績悪化などによる非臨床試験分野への委託の減少、加えてCRO間での競争激化により主力の医薬品非臨床試験の受注が伸び悩みました。この結果、昨年7月に新棟を竣工し、併せて増員及び人材教育を実施してまいりましたが、同新棟の稼働率が予想より伸びず、償却費の負担や人件費等固定費増加分をカバーするに至らず、この結果利益率が計画より大幅に低下いたしました。

② 臨床試験事業

当事業部門においては、Thorough QT/QTc試験（サロ・キューティール/キューティール試験）用新施設の建設を着工いたしました。この試験は、かねてより当社が新規事業として取組んでまいりましたが、この度ガイドライン「非抗不整脈薬におけるQT/QTc間隔の延長と催不整脈作用の潜在的可能性に関する臨床的評価」（厚生労働省医薬食品局審査管理課 平成21年10月23日）が発出され大きく前進したことから、今後はさらにスピードを上げ事業化に向けた取組みを強化してまいります。現在のところ設備投資が先行することから営業損失31,374千円（前年同四半期は営業損失40,347千円）となりました。

③ その他事業

当事業部門においては、環境関係では保守業務と消耗品の販売が中心で、食品関連試験では小規模の試験が多く、売上高は57,674千円（同64.7%減）、営業損失54,615千円（前年同四半期は営業損失12,084千円）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

主力の医薬品非臨床試験事業では、当第2四半期連結累計期間に終了する試験が少なく売上が減少したことから、各試験の費用負担が増加した結果、売上高は1,579,543千円（同3.8%減）、営業利益は8,083千円（同95.2%減）となりました。

② フィリピン

実験用カニクイザルの日本への輸出を1回実施したほか食品ヒト試験が実施され、売上高は48,665千円（同11.2%減）、営業損失は372千円（前年同四半期は営業損失37,188千円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 当四半期末の資産、負債及び純資産の状況

資産の部の残高は5,104,056千円となり、前連結会計年度末と比較して190,126千円減少しました。本減少は主に、前期購入した有形固定資産の支払による現金及び預金の減少であります。

負債の部の残高は3,340,967千円となり、前連結会計年度末と比較して99,209千円減少しました。本減少は主に、試験委託費の一部として受け取る前受金が減少したことによるものであります。

純資産の部の残高は1,763,088千円となり、前連結会計年度末と比較して90,916千円減少しました。本減少は主に、剰余金の処分による利益剰余金の減少であります。

(2) 当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して148,501千円減少し、157,684千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は257,495千円（前年同四半期は122,548千円）となりました。主な内訳は税金等調整前四半期純損失24,205千円、減価償却費138,963千円、売上債権の減少額117,055千円、たな卸資産の減少額57,870千円、前受金の減少額316,849千円、法人税等の支払額51,668千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は432,469千円（前年同四半期は442,424千円）となりました。主な内訳は土地を含む有形固定資産の取得による支出425,056千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は542,594千円（前年同四半期は583,387千円）となりました。主な内訳は短期借入金の純増加額520,000千円、長期借入れによる収入200,000千円、長期借入金の返済による支出114,800千円、配当金の支払額47,598千円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月4日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	201,805	349,264
受取手形及び売掛金	276,471	396,895
商品及び製品	5,050	8,347
仕掛品	1,074,855	1,159,664
原材料及び貯蔵品	310,989	289,682
その他	238,431	268,323
貸倒引当金	△15,005	△18,631
流動資産合計	2,092,597	2,453,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,270,015	3,265,558
減価償却累計額	△1,487,197	△1,406,741
建物及び構築物(純額)	1,782,817	1,858,817
土地	819,400	627,778
その他	924,557	895,667
減価償却累計額	△610,925	△584,951
その他(純額)	313,631	310,716
有形固定資産合計	2,915,849	2,797,312
無形固定資産	60,618	9,582
投資その他の資産		
その他	35,890	34,639
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	34,990	33,739
固定資産合計	3,011,458	2,840,634
資産合計	5,104,056	5,294,182
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	201,997	361,437
短期借入金	1,060,000	540,000
1年内返済予定の長期借入金	252,600	222,100
未払法人税等	7,530	59,326
前受金	839,186	1,160,246
賞与引当金	81,642	135,269
その他	209,931	362,200
流動負債合計	2,652,888	2,840,580
固定負債		
長期借入金	483,900	429,200
退職給付引当金	4,038	4,470
役員退職慰労引当金	47,875	46,125
その他	152,266	119,802
固定負債合計	688,079	599,597
負債合計	3,340,967	3,440,177

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,665	683,990
資本剰余金	600,665	599,990
利益剰余金	477,802	550,936
株主資本合計	1,763,132	1,834,916
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△72,989	△57,919
評価・換算差額等合計	△72,989	△57,919
少数株主持分	72,945	77,008
純資産合計	1,763,088	1,854,004
負債純資産合計	5,104,056	5,294,182

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	1,641,546	1,579,562
売上原価	1,050,359	1,140,883
売上総利益	591,186	438,678
販売費及び一般管理費	451,918	437,839
営業利益	139,268	838
営業外収益		
受取利息	708	136
受取賃貸料	4,479	6,398
補助金収入	—	2,319
その他	2,808	1,291
営業外収益合計	7,997	10,146
営業外費用		
支払利息	20,981	18,003
株式交付費	4,521	—
株式公開費用	25,426	—
為替差損	—	15,163
その他	5,625	2,718
営業外費用合計	56,555	35,885
経常利益又は経常損失(△)	90,710	△24,899
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,562
特別利益合計	—	2,562
特別損失		
固定資産除却損	25	1,867
特別損失合計	25	1,867
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	90,685	△24,205
法人税、住民税及び事業税	39,334	3,026
法人税等調整額	16,150	△2,862
法人税等合計	55,484	164
少数株主利益	686	843
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34,514	△25,213

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	1,129,985	811,423
売上原価	743,108	602,960
売上総利益	386,877	208,462
販売費及び一般管理費	226,062	215,067
営業利益又は営業損失(△)	160,814	△6,605
営業外収益		
受取利息	572	75
受取賃貸料	2,307	2,627
補助金収入	—	1,021
その他	868	1,268
営業外収益合計	3,747	4,991
営業外費用		
支払利息	10,226	10,010
株式交付費	1,160	—
株式公開費用	482	—
為替差損	—	10,859
その他	4,483	2,180
営業外費用合計	16,352	23,050
経常利益又は経常損失(△)	148,210	△24,664
特別損失		
固定資産除却損	25	1,485
特別損失合計	25	1,485
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	148,184	△26,150
法人税、住民税及び事業税	37,398	1,757
法人税等調整額	28,154	△6,614
法人税等合計	65,553	△4,856
少数株主利益	390	318
四半期純利益又は四半期純損失(△)	82,241	△21,611

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	90,685	△24,205
減価償却費	91,619	138,963
貸倒引当金の増減額(△は減少)	300	△3,508
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,047	△53,627
退職給付引当金の増減額(△は減少)	638	△147
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,650	1,750
受取利息	△708	△136
支払利息	20,981	18,003
固定資産除却損	25	1,867
株式交付費	4,521	—
売上債権の増減額(△は増加)	△141,386	117,055
たな卸資産の増減額(△は増加)	△104,790	57,870
仕入債務の増減額(△は減少)	9,151	△157,061
前受金の増減額(△は減少)	205,401	△316,849
その他	△112,224	34,757
小計	46,817	△185,268
利息及び配当金の受取額	708	136
利息の支払額	△20,230	△20,695
法人税等の支払額	△149,842	△51,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	△122,548	△257,495
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△25	△1,042
有形固定資産の取得による支出	△441,946	△425,056
無形固定資産の取得による支出	—	△3,861
その他	△453	△2,509
投資活動によるキャッシュ・フロー	△442,424	△432,469
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	520,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△151,000	△114,800
リース債務の返済による支出	△2,521	△16,356
株式の発行による収入	963,308	1,350
配当金の支払額	△26,400	△47,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	583,387	542,594
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,973	△1,131
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,440	△148,501
現金及び現金同等物の期首残高	255,744	306,186
現金及び現金同等物の四半期末残高	266,184	157,684

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	医薬品非臨床 試験事業 (千円)	臨床試験事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	999,751	—	130,234	1,129,985	—	1,129,985
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	999,751	—	130,234	1,129,985	—	1,129,985
営業利益又は 営業損失 (△)	173,935	△18,771	5,650	160,814	—	160,814

当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	医薬品非臨床 試験事業 (千円)	臨床試験事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	783,935	—	27,488	811,423	—	811,423
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	783,935	—	27,488	811,423	—	811,423
営業利益又は 営業損失 (△)	28,506	△14,614	△20,497	△6,605	—	△6,605

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	医薬品非臨床 試験事業 (千円)	臨床試験事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,478,020	—	163,526	1,641,546	—	1,641,546
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,478,020	—	163,526	1,641,546	—	1,641,546
営業利益又は 営業損失 (△)	191,701	△40,347	△12,084	139,268	—	139,268

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	医薬品非臨床 試験事業 (千円)	臨床試験事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,521,887	—	57,674	1,579,562	—	1,579,562
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,521,887	—	57,674	1,579,562	—	1,579,562
営業利益又は 営業損失 (△)	86,828	△31,374	△54,615	838	—	838

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
医薬品非臨床試験事業	医薬品開発のための安全性試験、薬効薬理試験
臨床試験事業	医薬品開発のための臨床試験の受託
その他事業	空調装置、スクラバー（ガス除去装置）、脱臭剤搭載装置の開発・施工・販売等、食品の非臨床試験及びヒト臨床試験の受託

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	フィリピン (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,129,928	56	1,129,985	—	1,129,985
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	438	27,389	27,828	(27,828)	—
計	1,130,367	27,446	1,157,814	(27,828)	1,129,985
営業利益又は営業損失 (△)	163,143	△11,735	151,408	9,406	160,814

当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	フィリピン (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	811,423	—	811,423	—	811,423
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	38,516	38,516	(38,516)	—
計	811,423	38,516	849,939	(38,516)	811,423
営業利益又は営業損失 (△)	△4,122	5,706	1,584	(8,189)	△6,605

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	フィリピン (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,641,417	129	1,641,546	—	1,641,546
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	438	54,681	55,120	(55,120)	—
計	1,641,855	54,811	1,696,667	(55,120)	1,641,546
営業利益又は営業損失 (△)	168,005	△37,188	130,817	8,450	139,268

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	フィリピン (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,579,543	18	1,579,562	—	1,579,562
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	48,646	48,646	(48,646)	—
計	1,579,543	48,665	1,628,208	(48,646)	1,579,562
営業利益又は営業損失 (△)	8,083	△372	7,711	(6,873)	838

(注) 国別に区分しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。